

令和7年度 地域連携推進会議議事録

(三ツ池ホーム)

○開催日時 令和7年10月20日(月) 午後1時30分～

○開催場所 三ツ池ホーム リビングスペース

○参加者

- ・三ツ池ホーム入所利用者代表
- ・三ツ池ホーム入所利用者保護者代表
- ・瀬田地区担当民生・児童委員
- ・福祉関係者 障がい者基幹相談支援センター専門相談員
- ・市担当者 可児市福祉支援課 障害者支援担当者
- ・可茂学園 山口管理者、水野サービス管理責任者、武藤生活支援員

○会議次第

- ・管理者挨拶
 - 可茂学園の運営方針、沿革の説明
 - 地域連携推進会議の目的及び役割の説明
 - 会議参加者の紹介
- ・サービス管理責任者より利用者の皆さんの日常生活等について説明・紹介
- ・意見交換
- ・施設見学

※意見交換

・保護者代表

何かあったときは、三ツ池ホームから連絡を頂いていますが、普段は家での生活の延長として同じようなことをやっていると信じています。

障害を持っていることから普通では考えられないことが起きるので、地域の方はどう思われているのか心配するところです。もし、衝動的に三ツ池ホームを飛び出してしまった時に捜索のお手伝いをして頂けるのでしょうか。また、帰宅時は西可児駅まで歩いていくのですが、道中が一番心配するところです。西可児駅まで歩いていく途中で何かあった時に、自分ではどういうことになったのかということを自分で判断できず、しゃべることもできなくなってしまう。そんな時に地域の方に助けていただけたらありがたいと思います。

両親が今後亡くなった場合、どうなるかは想像が付きませんが、まずは、三ツ池ホームで預かってもらえることになり、ありがたく思っています。親の代わり

に兄弟たちに任せるのも心配ですし。

・地区担当民生・児童委員

昨年の4月から民生・児童委員となり、地域の要援護者の見守りを行っており、昨年には、この三ツ池ホームも立ち寄らせてもらいました。

地域としては「カフェ&ベーカリー麦の丘」は認識があっても、「三ツ池ホーム」についてはあまり知られてはいないようです。

わたしは、当地区150世帯を管轄に持ち、要介護や独居老人18名を受け持っています。ただ、あくまでも見守りであって、何か相談を受けたときに、その関係者、つまり市役所であったり、生活支援センターであったり、それらのつなぎ役として人間関係を作っていく。うまくいっている方もあり、うまくいっていない方もあります。前任者が体調不良で、途中で引き継いで1年半くらい経ちましたが、間もなく3年の任期が終了し、12月から新たな任期に入ります。少しでもお役立ちできるように、現在勉強中です。

当地区には72・3歳以上の24名でつくる老人会がありまして、年8回の例会を開き、年2回は安全教室や健康教室などを行って集まります。そのような折に、来ていただいてPRしてもらえると良いと思います。

地域には、自治会や民生・児童委員連絡協議会、自治連合会などがありますが、関係性はとても弱いのが現実です。実は、何かあった時の要援護者リストが作っているのですが、25名ほどのリストですが、この名簿も自治会と共有できていませんでした。市と自治会、市と民児協というように縦割りで、横の連携、つながりが希薄で、うまく機能していないという事実があります。

ご心配なことは、連絡して頂ければ行政や自治会も含めて対応していきたいと思います。また、わからないことがあれば、交番も近くにありますのでご利用いただきたいと思います。

・管理者

成年後見制度を利用することも有効ですが、高齢で体がきかなくなった時は、介護認定を受けて老人施設に行く可能性はあります。

・利用者代表

生活は、皆さんと一緒に協力しながら洗濯とか教えてくれて生活しています。今のところ、こうして欲しいと言う事はないです。職員は、優しいです。

・市担当者

4月に障がい分野に来たので知らないことが多くてお聞きしたいのですが、スタッフの配置で、生活支援員さんと世話人さんの仕事の違いは何ですか？

・サービス管理責任者

一言で言えば、世話人は主に食事を作る方です。また、共有部分の清掃も受け持ちます。

・市担当者

食事はここで作られるんですか？

・サービス管理責任者

はい、そうです。

・市担当者

皆さん、朝昼晩ここで食事をするんですか？

・利用者代表

はい。

・市担当者

皆でいっしょに食べれるからいいですね。

・利用者代表

はい。

・市担当者

入居者の方は、男性、女性何人ずつ見えますか？

・サービス管理責任者

現在は、女性6名、男性4名です。

・市担当者

満室ですか？

・サービス管理責任者

相談支援センターなどから、お話があって、ご本人が気に入っていただければ入居できます。

・市担当者

希望すれば誰でも入れるのですか？

・サービス管理責任者

車椅子の方などは、急な上り坂や設備の面で無理かと思います。それと一日ここで過ごすことはできません。何らかの事業所なりに通ってもらわねばなりません。現在この利用者は、麦の丘や可茂学園、そしてふれあいの里に通っておられます。

・市担当者

麦の丘では、保育園にパンを配達に行かれたり、地区センターで販売したりと活動しておられることは知っていましたが、ここにグループホームがあったことすら知りませんでした。障がいの分野に来るまでは、高齢者施設だと何となくここで生活しておられるなとわかりますが、障害者施設だとなかなかそこで生活していらっしゃる方は少ないように勝手に思っていました。

地域とのつながりが持てるといいなと思います。災害時でも、ここにいるよとわかってもらえて地域の人たちと助け合えると思います。私の住んでいるとこ

ろでは、お祭りなどがあり、地域の特別養護老人ホームの皆さんも楽しみに出て来てもらったりして分かり合えています。こんな機会があるといいですね。

・管理者

三ツ池ホーム（女性）の定数は8名、第2ホーム（男性）が5名ですので、条件がそろえばまだ入居できます。

それから、なかなか三ツ池ホーム単体で地域の人にPRするのは難しいですが、「地域移行」というもう一つ次の段階があります。

国の方針として、今後入所施設は新たに作らない。そして入所の方々にはどんどんグループホームや一般のアパートに行きたい人は行ってもらいようにしなさい。というものがあります。

ただ、はたしてそこまで地域が受け入れるだけの状況ができているのかが問題になります。

知的障害を持つ皆さんが健常者と同じように生活ができる社会を目指しているということで、その一つ手前の段階がこの「地域連携推進会議」であるように私は思っております。また、この先が大変だなあと考えています。

保護者さんにとっては、一般のアパートでの生活は本当に大丈夫か。何かあった時にグループホームや入所施設であれば、医者の手配、職員もちゃんと付いてくれているし、金銭の管理もしてもらえる。こんな理想のような地域移行が本当にできるのか。私は不安視しています。

・福祉関係者

利用者の皆さんの生活の場はこの三ツ池ホームになりますが、ご自身で買い物に行きたいという場合の方法などがありますか。

・サービス管理責任者

コロナ禍では無理でしたが、皆でまとまって買い物に出かけることもあります。個別となりますと、こずかい帳のようなメモ帳に欲しいものを書いていただいて、私たち生活支援員が代行して買い物をすることもあります。

・福祉関係者

園長の言われた「地域移行」ということでは、買い物も自分で行くことも必要になり、その訓練も必要になってくるでしょう。利用代表者さんのように電車に乗って帰るということも非常に良い経験になりますね。

また、利用者の中に「ハーモニー」のパソコン教室に通っておられるなど、すごく良い経験をされています。こうしたこともぜひ続けてほしいと思います。

可茂学園の相談員さんもモニタリングなどでこちらの施設に足を運んで、それぞれの利用者さんの話をよく聞いておられると思いますので、連携していたければ良いと思います。

・管理者

利用者さんに出来ることはやっていただいて、困難なことに手を差し伸べるという従来の支援を今後も続けていきたいと思います。

※施設見学（三ツ池ホーム内）

サービス管理責任者及び生活支援員の案内で施設内見学。

加えて、利用者代表の承諾を得て、部屋の中を見せていただいた。



会議の様子